

県P連だより

陽だまり

No.33

平成22年12月4日（土）世羅町せら文化センターにおいて、「子育てを楽しみながら、女性として輝こう」をテーマに、全小・中学校PTA母親代表研修会が開催されました。当日は、県内の小・中学校から447名の参加があり、講演会と分科会を通して、いろいろな気づきを得る有意義な時間を過ごしました。

講演会では、広島テレビアナウンサー 馬場のぶえさんより、「妻・母・女性 3つの顔をどう生きますか」と題してご講演いただきました。「アナウンサーとしての顔」「母親としての顔」「娘としての顔」「女性としての顔」について、自身の経験から感じたことなどを中心に話してください。身近で参考になる内容でした。「自然体」でいることの大切さ、「自然体」でいることができるよう支援を得て、心に余裕を持つことが子どもや周りの人たちに良い影響を与えること、支援を得る部分

とこれだけを取り組んでいくという部分を分けること（「捨て得る」）も必要であること、それぞれの顔で夢（目標）を持つことの大切さなどについてお話しいただきました。

講演会終了後は、8分科会に分かれ、情報交換や交流を行いました。講演会を聴いての思いや各学校での取り組み、子育ての悩みなどいろいろなことが話されました。意見や思いを話し合うことで、多くの学びを得ることができたと思います。

研修会を通して、何かに取り組むために一歩踏み出すことは、半分達成したのと同じ（「始まりが半分」という気持ちで日々を過ごしていくことが、女性として輝くことに繋がると感じました。

最後に、この研修会にご協力いただいたみなさんに、心より感謝いたします。ありがとうございました。



◀終始にこやかに講演される馬場のぶえ講師

平成二十二年
全小・中学校PTA母親代表研修会
広島県PTA連合会 母親代表 田坂 京子

全小・中学校PTA母親代表 研修会・分科会の アンケートから

○他の学校の活動や悩みなど、聞いたり聞いてもらったりして大変良い事だと思いました。意見交換など、めったにない事なので参加出来てよかったです。

○「分科会」という言葉から固いイメージがあり、話し合いなら遠慮がちになると思ったけど、いざ参加してみると、皆の意見も楽しく、笑いもあり良かったです。

○とにかく楽しかった。具体的に成果があるという訳ではないが、PTA役員の活動を毛嫌にする人が多いので、こういう経験ができるのは、役員のメリットだと言う事を伝えたい。

○時間が少し足りませんでした。雑談も含めもう少し時間があれば、もっと充実した話ができただけではないかと思いました。

○普段は絶対に交流することのない学校の方々とお話ができ、各学校の現状を知る良い機会になりました。こういう会を各学校内でもできたらいいなと思いました。

○私も、何かアドバイスできる立場になり、やっと母親らしくなれたかな?と思いました。



「たのしい子育て」

全国キャンペーン

「親子で話そう! 家族のきずな・我が家のルール」

三行詩コンクール

文部科学省と(社)日本PTA全国協議会が共催した三行詩コンクールの審査が行われました。応募総数5万6225作品の中から優秀作品が選考され、小学生の部で庄原市立総領小学校一年生の下岡大和くんが見事に佳作(全国で11人)を受賞されました。11月27日には本人を含めご家族6人で日本未来科学館(東京)で行われた授賞式に参加されました。

受賞作品

「こぼろびはおもちゃかうよりだっこして」

入選
おめでとうございます



日本PTA年次表彰式

日時 平成22年11月26日(金)
場所 ホテルニユーオータニ(東京)

■文部科学大臣表彰(団体)

東広島市立三ツ城小学校PTA
広島大学付属東雲中学校PTA
尾道市立日比崎小学校PTA
広島市立八幡東小学校PTA

■(社)日本PTA全国協議会 会長表彰(団体)

福山市PTA連合会
鳳・東朋中学校区連絡協議会

■(社)日本PTA全国協議会 会長表彰(個人)

榎 大介 羽原 啓二 黒木 伸二



第40回日本PTA中国ブロック研究大会鳥取県米子大会

日時 平成22年11月13日(土) 場所 米子コンベンションセンター

大会に参加して

副会長 竹本 和道

大山の麓の木々が美しく彩りを変え、冬の気配さえ感じさせる晩秋の11月13日(土)、中国地方5県より1400名余りのPTA会員が鳥取県米子市に寄り集い『今を生きる子どもたちへ』未来へ夢を紡ぎ心を育てるPTA』をテーマに、米子コンベンションセンタービッグシップにおいて第40回日本PTA中国ブロック研究大会鳥取県米子大会が開催されました。

開会式に引き続き行われた実践発表は米子市PTA会員で結成された劇団ピュアによる演劇『夕焼けポレポレ』。30年前、中学3年生だった友達10名。



当時、いじめを受けていた友ツチを守るために結成された「チーム友ツチ」。その30年後の今、友ツチが亡くなり

ます。葬式の帰り、母校の教室に寄つてみることに。思い出話に花が咲き當時を懐かしむ男女9名。30年後それぞれの家庭の中に抱える問題(障害・独身・多重債務・病氣・介護・DV)をカミングアウトしていきます。それらを一人で抱えて悩むのではなく、友人として共に悩んで助け合い、年齢を重ねても夢を実現できるように、これからも頑張つて生きていこうというものでした。大変感激して85分という時間があつたという間に感じられました。

午後から『生きる』との演題でアルピニスト(登山家)野口 健さんの講演がありました。母親がエジプト人ということで幼少時にいじめに遭い、12歳の時に両親の離婚。高校1年の時に成績をバカにした先輩を殴つて、1ヶ月の自宅謹慎。その謹慎中に旅に出て、旅先の本屋で故植村直己の著書『青春を山に賭けて』(おちこぼれで冒険家を目指す)に感銘を受け、登山を始められたそうです。その登山から「死生観」を学び、エベレストや富士山での清掃活動から、環境問題への取り組みを始められ、現在は、環境問題にとどまらず、第二次世界大戦時の日本兵のご遺骨の収集活動にも取り組んでおられます。

言であつたように思います。謹慎中に学校を辞めても良いかと父親に尋ねた時、東大出身で外交官の父親は「私は外務省で外交官として働いているが、定年を迎え退官すればただの人になつてしまふ。できれば、自分の名前が肩書きになるような人生を歩んでもらいたい。」と彼に話したそうです。そこから、植村直己の本に出会い登山家を目指したのであるが、当然ながら現在にいたるまでは紆余曲折は話の中でも多々ありました。

さて、今回の研究会で私が感じたのは、より良い人間関係を保ち、どんな環境の中であつても喜びや感動を見出し「生きる」という姿勢を子どもたちに指し示してやるのが、子どもたちの「生きる」ということに繋がるのだと感じました。「子どもは親の背中を見て育つ」のごとく、親の「生きる」姿勢、そのものが子どもに伝わっていくのでしよう。私たちは子どもに対して自分の人生観や生活の中での感謝・喜び・感動を……そして、これからの夢をしっかりと語つてやらねばならないと思います。

子どもたちの笑顔あふれる今、そして未来のために、みんな考えてみませんか、見つめてみませんか「生きる」という意味を……。

開催案内

平成23年度全小・中学校PTA会長研修会

日時 平成23年6月4日(土)
会場 広島ガーデンパレス
(広島市東区光町1の15)

テーマ 「PTA活動の役割と会長としてのありかた」

講演 講師 山本シユウ氏
(ラジオDJ)

プロフィール
大阪府門真市出身。現在は東京在住。

山梨英和大学、大阪大学の非常勤講師。

ラジオDJとして番組やイベント等で活躍。

大きなレモンの被り物をして「レモンさん」というキャラクターで、小学校のPTA会長を5年、顧問を5年務めている。

その活動をまとめた「レモンさんのPTA爆談」(小学館)を刊行。著作料全額を「レモンさん基金」として子どもたちのために寄付している。

厚生労働省・エイズ予防財団主催の啓発イベント「RED RIBBON LIVE」の総合プロデュースをつとめる。また日本赤十字社の「二十歳の献血」を含む献血推進キャンペーン「LOVE in Action」プロジェクトのプロジェクトリーダーを務める。

「レモンさんのPTAビタミ」注入トーク「愛・本気・親戚 We are シンセキ!」

演題

「レモンさんのPTAビタミ」注入トーク「愛・本気・親戚 We are シンセキ!」

鐘

今年、どんな出会いが待っているのでしょうか。年の初めというのは、何かワクワクするものであります。でも、ワクワクすることばかりではなく、乗り越えていかなくてはならない現実も待っていますよね。

子育て中の悩み、人との関わり方など、いろいろなことに悩んだり、考えたりしますが、ヒントをくれたのはいろいろな関わりの中での出会った、人であり、本であり、いろいろのことではなかったでしょうか。「あー！ そんなふうに見えるばいんだ」と思えたこと。自分にとっては、大きな山であったのが、そうでもなかったこと。一人では、越えていけそうもないことが、一緒に越えてくれる仲間がいたこと。関わりをもつなかで、いつばい感動し、いつばい悩み、いつばい考える。関わりを持つことは、楽しいことばかりではありませんが、関わりをもつことで、乗り越えていけるヒントをたくさんもらっているように思います。生を受けてからこれまでの出会い。今を支えてくれているのは、関わったすべての出会いかな…と感じています。

大人の私達が、いろいろな関わりを持つ中で乗り越えていける大切なものを受け取ることができることを楽しみ、子ども達にも、いろいろなことに関わる中、これから乗り越えていくためのヒントをたくさん受けとってほしいな…と、感じています。今年も、すてきな出会いがあることを楽しみにしたいものです。そして、たくさんさんのヒントを受け取ることを…

(n)

編集後記

昨年を振り返るとニュースでは、鈴木章氏・根岸英一氏がある触媒で半永久的に化学結合ができるカップリング反応でノーベル化学賞を受賞し、国民が自分ごとのように誇らしく思いそして、希望を持ち努力すればきつといつか夢は叶うという明るい話題がありました。

今年、はじめて県Pの理事としてさまざまな事業に参加させていただきましたが、一人では何一つできない大きな事業ばかりで積極的にみなさんが取り組まれている姿にただただ感心するばかりです。公聴広報委員会では、県内郡市P連より集まった方たちばかりですが栗原副会長が触媒役となり委員会全員がカップリング（結合）しあって楽しく広報紙の企画・作成をしています。

今年度もラストスパートの時期になりましたが、人と人とのつながりを大切に、悔いの残らないようにがんばりたいものです。

最後に、第33号の「県P連だより」発行にあたり原稿などにご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。
平成22年度公聴広報委員会 黒田雄次郎

みんなの力で成功させよう！

ひろしま大会まで

あと **178** 日

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ（職場体験）や
アルバイトに起因する賠償責任も
対象となります。

●授業中やクラブ活動など、
校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償
はWプランのみ
対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

(注)動産総合保険(携行品一式特約
付帯)には、団体割引による割引は適
用しません。
スクールメディカルデスク24でお子
様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は子ども総合保険・動産総合保険(携行品一式特約付帯・学校管理下中のみ担保)のペットネームです。
この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

平成22年11月作成 募文No10-T-05019



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問い合わせ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ広島
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支店

TEL：0120-018-217
TEL：082-511-9194

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

共同引受保険会社

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社